

# 連合岩手釜石・遠野地協

# NEWS LETTER

連合岩手釜石・遠野地域協議会  
NEWS LETTER  
第10号  
発行人 大和田理  
編集人 大槻 忍  
2019年5月  
釜石市野田町2-14-36  
Tel.0193-55-5559



釜石集会以挨拶する大和田議長



釜石集会展会で単組から景品提供・紹介



遠野では集会后にデモ行進を実施

釜石地区集会以釜石  
情報交流センターPT  
を会場に午後2時に開会、  
来賓として釜石市の野田  
武則市長、小野共県議、  
松坂喜史市議、菊池秀明  
市議、宮崎賢・東北労金  
釜石支店長、中川博喜・

全労済釜石支所長にご出  
席いただきました。実行委員  
長である連合釜石・遠野  
地協の大和田議長が挨拶、  
格差や貧困の連鎖を招か  
ないよう運動の拡大を訴  
えました。続いて野田市

長と小野県議からご挨拶  
をいただきました。岩手スト  
ートパフォーミングスクラ  
ブによるジャグリングを  
行ったほか、大槌町のキ  
ッチンカー「Celia」など

2019年4月27日(土)、「格差をなくし、平和を守る！  
笑顔あふれる未来をつくろう。」が県内各地区で行われま  
した。90回の記念集会以あり連休初日の開催となりました。遠野  
地区集会以約90名が参加し、労働者の祭典を祝いました。

# 格差をなくし、平和・人権を守ろう

## 第90回記念メーデー 釜石・遠野両地区で集会

のイベントも行いました。また東北電労の進行によ  
る「お楽しみ抽選会」で  
は各単組から景品を提  
していただき、大いに盛  
り上がりしました。集  
あわせて取り組んだ「愛  
のカーンパー」は11330  
円を集約しました。  
遠野地区集会以稲荷下  
屋内運動場を会場に午後  
1時に開会、来賓として  
小松正真遠野市議、山本  
順一・社民党遠野支部代  
表、板倉順子・東北労金  
遠野支店長、高島光洋・  
全労済北上支所係長にご  
出席いただきました。実  
行委員長の菊池利行平和  
環境遠野地区労センタ  
議長の大和田議長から  
を代表して小松市議から  
ご挨拶をいただきまし  
ご集会以は、抽選会など  
コンクールの抽選会など  
で盛り上がり、抽選会など  
で盛り上がり、抽選会など  
パでも「被災地支援力  
でいた「被災地支援力

尾崎半島山林火災から2年。釜石・遠野地協は釜石地方森林組合とともに山林の再生に取り組んでいます。

## 6月8日(土)の尾崎半島植林活動に参加しよう

- 10時50分「シェアオフィスマルダイ」(釜石大観音仲見世通り)集合 ※昼食は準備します。
- 11時～11時45分「学習会」 □ 13時45分～15時15分「植林」 □ 16時10分解散

申込は各単組にお願いします。連合釜石・遠野地協への申込期限は5月30日(木)までです。



# 連合岩手「2019地域フォーラム」を釜石で開催

## 希望の持てる地域づくりを議論

### 社会的包摂を伴う地域づくりに向け

### 新たな運動の出発点に

連合岩手は4月13日（土）「2019地域フォーラム」を釜石情報交流センターPITで開催しました。「2019地域フォーラム」には、県内から150名が参加、3年目を迎え「議論」から「協働・連携」への新たな運動展開に向けたスタートをきりました。フォーラムには釜石・遠野地協から多数の幹事・組合員が参加、運営に大きな役割を果たしました。

地域フォーラムの冒頭、連合岩手の八幡博文会長は「今回のフォーラムを通じて被災地の復興

を考えたい。三年目を迎えて、具体的な行動へと新たなステップに踏み出す」とあいさつ、これまでの

議論を通じて積み重ねてきた成果を基礎に「協働・連携」の新たな運動展開に取り組み決意を明らかにしました。

その後、連合本部・山根木晴久総合組織局長と釜石市・野田武則市長から祝辞をいただきました。

引き続き「三鉄つながる、つなげる三鉄」これからの三鉄が果たす役割」

をテーマに三鉄の中村社長が特別講演、中村社長は、リアス線を通じて「地域の足の確保」と「産業振興・地域活性化への貢献」を果たしていきたいと訴えました。

続いて、岩手大学・杭田俊之准教授が「希望のもてるALL FOR ALLの地域づくり」をテーマに基調提起、この間のフォーラムの取り組みや自らの釜石地域での研究活動を通じた地域づくりの現状から「課題提起から実践」の段階にきていること、希望の持てる社会的包摂を伴う復興・地域づくりに連合岩手が関わることの意義と期待を提起していただきました。

「関わり」を大切に  
 具体的な取り組みへ  
 提言後に釜石リージョナルコーディネーターの手塚さや香さんの進行で意見交換を行いました。キーワードとして浮かび上がったのは、誰も取り残さない「社会的包摂を伴う活動」、そのための「居場所・活動できる場所をつくる活動」、「多くの『つながり』が重要であり可能性を生み出す」などでした。連合岩手は、とりわけ地協段階で地域づくりへの貢献を重要な運動課題とし、「関わり」を持っていくことを出発点として具体的な活動に取り組み、次年度以降のフォーラムでの課題や成果の共有をめざします。



上・講演する中村社長 下・提言者の意見交換



盛況だった物販。手前は白浜浦女性部。

今回のフォーラムでは、地域づくりに取り組む団体から実践報告と提言をいただきました。

宮古市社会福祉協議会の有原領一さんからは「こども食堂」などの生活困窮者支援の取り組みと連合宮古地協との連携について報告していただきました。

釜石市社会福祉協議会の菊池亮さんと「ゴジョ」の細川隼さんからは「薪づくり」を通じた生

きが就労事業の概要と連合への期待について提言をしていただきました。

釜石市で活動する「三陸ひとつなぎ自然学校」の伊藤聡さんと柏崎未来さんから添ってきた活動から子どもの可能性が広がっている成果を報告していただきました。

「関わり」を大切に  
 具体的な取り組みへ  
 提言後に釜石リージョナルコーディネーターの手塚さや香さんの進行で意見交換を行いました。キーワードとして浮かび上がったのは、誰も取り残さない「社会的包摂を伴う活動」、そのための「居場所・活動できる場所をつくる活動」、「多くの『つながり』が重要であり可能性を生み出す」などでした。連合岩手は、とりわけ地協段階で地域づくりへの貢献を重要な運動課題とし、「関わり」を持っていくことを出発点として具体的な活動に取り組み、次年度以降のフォーラムでの課題や成果の共有をめざします。

なお今回のフォーラムでは、釜石湾漁協白浜浦女性部と釜石地方森林組合、三陸鉄道のご協力を得て物販も実施、フォーラムの中でプレゼンも行